【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2005-531302(P2005-531302A)
【公表日】平成17年10月20日(2005.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2005-041
【出願番号】特願2004-510377(P2004-510377)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/74　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/12　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　35/74　Ａ
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　9/04
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｐ　9/12
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ｃ
Ｃ１２Ｑ　1/02
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月15日(2006.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
作用可能に結合された異種ポリヌクレオチドの転写を調節する哺乳類コリン発現制御領域を含んで成る単離されたポリヌクレオチド。

【請求項２】
前記制御領域が、哺乳類コリン遺伝子の転写を調節する請求項１記載のポリヌクレオチド。
【請求項３】
前記転写が心臓組織において生じる請求項１記載のポリヌクレオチド。
【請求項４】
前記制御領域が、GATA、Tbx-5、NKx2.5又はNF－AT結合部位から成る群から選択された転写調節要素を含んで成る請求項１記載のポリヌクレオチド。
【請求項５】
前記制御領域が、GATA-4、Tbx－5、NKx2.5、Krppel-様因子又はNF-AT転写因子から成る群から選択された転写調節タンパク質に結合する請求項１記載のポリヌクレオチド。
【請求項６】
前記哺乳類がヒトである請求項１記載のポリヌクレオチド。
【請求項７】
前記ポリヌクレオチドが、配列番号４で示される配列を有する請求項６記載のポリヌクレオチド。
【請求項８】
前記ポリヌクレオチドが、配列番号５で示される配列を有する請求項６記載のポリヌクレオチド。
【請求項９】
前記ポリヌクレオチドが、配列番号６で示される配列を有する請求項６記載のポリヌクレオチド。
【請求項１０】
作用可能に結合された異種ポリヌクレオチドを転写できる、請求項１記載のポリヌクレオチドのフラグメント又は変異体。
【請求項１１】
前記フラグメント又は変異体が、配列番号４に対して少なくとも70％同一である請求項10記載のフラグメント又は変異体。
【請求項１２】
前記フラグメント又は変異体が、配列番号５に対して少なくとも70％同一である請求項10記載のフラグメント又は変異体。
【請求項１３】
前記フラグメント又は変異体が、配列番号６に対して少なくとも70％同一である請求項10記載のフラグメント又は変異体。
【請求項１４】
請求項１記載のコリン発現制御領域を含んで成るベクター。
【請求項１５】
請求項14記載のベクターを含んで成る宿主細胞。
【請求項１６】
請求項15記載の宿主細胞から、コリン発現制御領域に作用可能に結合された異種ポリヌクレオチドによりコードされるポリペプチドを発現することを含んで成る、ポリペプチドの生成方法。
【請求項１７】
請求項15記載の宿主細胞から、コリン発現制御領域に作用可能に結合された異種ポリヌクレオチドによりコードされるアンチセンス分子を発現することを含んで成る、ポリヌクレオチドの生成方法。
【請求項１８】
請求項14記載のベクター及び医薬的に許容できる担体を含んで成る医薬組成物。
【請求項１９】
請求項15記載の細胞及び医薬的に許容できる担体を含んで成る医薬組成物。

【請求項２０】
細胞におけるヒトコリン遺伝子の発現を調節する剤の同定方法であって、
（ａ）哺乳類コリン発現制御領域を含んで成る単離されたポリヌクレオチドがレポーター遺伝子に作用可能に結合されている組換えベクターを生成し；
（ｂ）前記組換えベクターにより前記細胞をトランスフェクトし；
（ｃ）前記細胞を前記剤により処理し；
（ｄ）前記処理された細胞におけるレポーター配列の発現のレベルを測定し；そして
（ｅ）処理されていないトランスフェクトされた細胞における発現のレベルに、前記剤の存在下でのレポーター配列の発現のレベルを比較する；
ことを含んで成る方法。
【請求項２１】
前記細胞が心筋細胞である請求項20記載の方法。
【請求項２２】
ヒト対象における遺伝子の発現の調節のための、哺乳類コリン発現制御領域を含んで成る単離されたポリヌクレオチドが異種ポリヌクレオチドに作用可能に結合されている組換えベクターを含んで成る医薬組成物。
【請求項２３】
前記異種ポリヌクレオチドが、治療用タンパク質、例えばコリン、ANP、B型ナトリウム排泄増加性ペプチド、ホスホランバン、ACE又はそれらの遺伝子の負の優勢形をコードする請求項22記載の医薬組成物。
【請求項２４】
前記異種ポリヌクレオチドがコリンをコードする請求項23記載の医薬組成物。
【請求項２５】
前記異種ポリヌクレオチドが、治療用ポリヌクレオチド、例えばアンチセンスRNA分子又は触媒性RNA分子をコードする請求項22記載の医薬組成物。
【請求項２６】
前記制御領域が、配列番号４，５又は６から成る群から選択される請求項22記載の医薬組成物。
【請求項２７】
ヒト対象におけるうっ血性心不全、高血圧又は心筋梗塞の治療のための、コリン、心房ナトリウム排泄増加性ペプチド（ANP）、B型ナトリウム排泄増加性ペプチド、ホスホランバン、アンギオテンシン転換酵素（ACE）又はそれらの遺伝子の負の優勢形から成る群から選択された遺伝子に作用可能に結合された哺乳類コリン発現制御領域を含んで成るポリヌクレオチド、を含んでなる医薬組成物。
【請求項２８】
前記遺伝子がコリンである請求項27記載の医薬組成物。